

平成31年 3月13日

部会員 各位



一般社団法人 近畿化学協会  
エレクトロニクス部会  
部会長 松田 建児  
(京都大学工学研究科)

## 平成31年度第1回研究会 ご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段お慶び申し上げます。

平素より本部会の運営に際しましては、種々ご高配を賜わり厚く御礼を申し上げます。

さて、早速ながら標記研究会を下記の通り開催致しますので、業務ご多繁のところ恐縮ながら、ご都合お繰り合わせのうえご参集くださいますようご案内申し上げます。

敬具

(記)

日時 平成31年 5月13日(月) 14:00~18:30

会場 大阪科学技術センター 7階701号室 [大阪市西区靱本町1-8-4, Tel. 06-6443-5324]

<交通>地下鉄四つ橋線「本町駅」下車、25・28番出口より北へ徒歩約7分、うつぼ公園北詰。

### テーマ「古くて新しい材料：有機・無機ペロブスカイト研究の新潮流」

#### 1. 講演<質疑応答 含む>

##### 1) ハロゲン化鉛系ペロブスカイトの基礎光物性と光学デバイスへの応用 (14:00~15:00)

佐賀大学大学院工学系研究科 准教授 江良 正直 氏

量子井戸構造を有するハロゲン化鉛系層状ペロブスカイトを中心に、ハロゲン化鉛系ペロブスカイトの基礎的な光物性をその光学デバイスへの応用について述べたい。

##### 2) アニオン・配位子置換によるペロブスカイト量子ドットLEDの高性能化 (15:00~16:00)

山形大学大学院有機材料システム研究科 助教 千葉 貴之 氏

ハロゲン化鉛ペロブスカイト構造を20 nm以下にナノ結晶化したペロブスカイト量子ドット(CsPbX<sub>3</sub>, X=Cl, Br, I)は、化学組成および粒径サイズにより可視光全域での発光波長制御が可能であり、高い発光量子収率とシャープな発光スペクトルを示すことから、次世代発光材料として大きく注目を集めている。本講演では、ペロブスカイト量子ドットの配位子交換やハロゲンアニオン交換といった『追処理技術』により、ハロゲンアニオン欠陥の抑制とペロブスカイト量子ドット発光デバイス(LED)の高性能化について紹介する。

##### 3) ペロブスカイト太陽電池の開発：研究最前線 (16:10~17:10)

京都大学化学研究所複合基盤化学研究系 教授 若宮 淳志 氏

有機・無機ペロブスカイト太陽電池は次世代の薄膜太陽電池として注目を集めている。その光電変換効率も短期間で著しく向上し、20%を超える効率が得られるようになっている。本講演では、高性能化の鍵となる溶液の塗布で作製できるペロブスカイト薄膜の基礎化学と、本太陽電池の実用化を目指した我々の取り組みについて紹介する。

#### 2. 懇親会 (17:15~18:30) \*講師の先生を囲みアフターディスカッションを兼ねたビアパーティを開催します。

於:「ATRIO CAFE」[大阪市西区京町堀 1-8-27、会場より徒歩1分、TEL06-6447-9898]

会費 3,000円(当日お支払いください)

【参加費】 エレクトロニクス部会会員:聴講無料、懇親会費 3,000円(当日お支払いください)

【申込方法】 ホームページ上の「参加申込フォーム」(<http://www.kinka.or.jp/form/view/index.php?id=30>)をご利用ください。または、E-mailにて「エレ部会 H31第1回研究会参加申込」と題記し、1)参加者氏名、2)勤務先(所属)、3)連絡先(TEL、E-mail)、4)懇親会参加の有無、を明記のうえ、下記宛てにお申込みください。参加証は送付しませんので、直接会場にお越しください。



一般社団法人近畿化学協会 エレクトロニクス部会

TEL : 06(6441)5531 / FAX : 06(6443)6685 / E-mail:seminar@kinka.or.jp